

第2回県営処分場エコグリーンとちぎ安全推進協議会

開催結果概要

1 開催年月日 令和6(2024)年2月27日(火) 15時00分～16時30分

2 場所 エコグリーンとちぎ管理棟2階大会議室

3 議事

- (1)エコグリーンとちぎの運営等について
- (2)エコグリーンとちぎの情報発信について
- (3)北沢不法投棄物の撤去について
- (4)その他

4 出席者

安全推進協議会委員

- (1) 那珂川町行政区長連絡協議会会長 鈴木 雄一
- (2) 那珂川町和見行政区長 関 一夫
- (3) 那珂川町小口行政区長 大金 重晴
- (4) 那珂川町小砂行政区長 大金 勝男
- (5) 那珂川町議会教育民生常任委員会委員長 益子 明美
- (6) 一般財団法人日本環境衛生センター副理事長 藤吉 秀昭
- (7) 国立研究開発法人国立環境研究所福島地域協働研究拠点
廃棄物・資源循環研究室長 遠藤 和人
- (8) 栃木県環境森林部参事 野中 寿一
- (9) 那珂川町生活環境課長 杉本 篤

事務局(栃木県)

資源循環推進課長 大橋 禎恵
県営処分場整備室長 笠原 和樹
副主幹 吉成 友徳
係長 高橋 昌平
主査 志鳥 博一
主任 角田 里史

事務局(SPC)

株式会社クリーンテックとちぎ代表取締役 安藤由紀男
株式会社クリーンテックとちぎ取締役 吉崎幹人
株式会社クリーンテックとちぎ処分場責任者 河道 信二
株式会社クリーンテックとちぎ施設保全部兼総務部責任者 宮田 昭宏
株式会社クリーンテック営業部部長 鈴木 和昭
株式会社クリーンテック経営企画室室長 澤田 義麿
株式会社熊谷組 エコグリーンとちぎ作業所所長 田中 明
株式会社熊谷組 エコグリーンとちぎ作業所副所長 宮本 孝

5 結 果

委員からの御質問・御意見等	事務局(県及びSPC)からの回答等
<p>(1) エコグリーンとちぎの運営等について (資料3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回協議会で検討すると回答されたものについて状況を伺う。 ・ 資料3の3ページの廃棄物の受入状況、1月末の搬入量2,672tについて、初年度の計画通りの搬入量なのか伺う。また、年間計画についても伺う。 ・ 処分場内の散水時に、作業員がいる場合があると思う。散水する際の水に基準値はないとのことだが、同基準を設けるなど対策すべきでは。 ・ 計量棟には何人常駐しているのか。 ・ 12年間で埋立を完了するため、十分な量の廃棄物の確保が重要かと思う。努力いただきたい。 ・ 資料3の13ページの2及び3について、放射能計測値が4,000ベクレルを超えたため、受入を断ったとある。その後の対応状況を確認したい。放射能濃度は、全車両に対しチェックすると第1回安全推進協議会で説明があったと記憶している。また、受入を断った業者については、エコグリーンとちぎへの搬入が再開されたのか。 	<p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料6として添付させていただいた。 <p>(SPC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 搬入量は当初想定より少ない。顧客が、開業間もないエコグリーンとちぎの運用状況を注視しているためと考えている。今後、営業活動を強めていきたい。搬入計画については、長期的には月あたり4,000tを計画している。 <p>(SPC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 散水は、作業員の動線にあたらなようブロックを分けて計画的に散水しているため、特段支障ないと考えている。 <p>(SPC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計量棟の脇に設置した警備員用ボックスにガードマン1名、計量棟にはマニフェスト管理を行う者が2名常駐している。勤務中はSPC代表企業の他事業所と常時連絡がとれ、支援を受けられる体制としている。 <p>(SPC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営・維持管理マニュアルに基づき、全ての搬入車両について、スクラップモニターにより放射能濃度を計測している。当該案件については、基準値を超過したため、受け入れを断った。

・エコグリーンとちぎとして今後どのような対策を考えているか。

・マニュアル等の強化など、しっかりとした対応を検討してもらいたい。
・開業後、半年しか経ってないのに基準値超過が1件出たのか、というのが正直なところ。今後こういった事態が起きないように対応の徹底をお願いしたい。

・放射能濃度が0～4,000ベクレルと幅があるが、どの程度の数値が多いのか。

・資料3の20ページにおいて、地下水集水ピットのpH(水素イオン濃度)がじわじわ上がっているように感じる。とはいえ、電気伝導率などから考えると、廃棄物由来とは思えない。pHが8.6を超える前に、何らかの対応を検討すると良いと思う。他の場所だと、水路にコケが生えていて、pHが上がったという事例もある。

(2) エコグリーンとちぎの情報発信について

(資料4)

・見学者用ムービー(一般用)を視聴。
・着々と情報発信がされているように理解した。今後の取組についても、引き続き検討されると良いと思う。

・資料4の4ページの那珂川町ケーブルテレビにおける処分場内のライブ映像について、視聴者(町民)の感想が運営側に届くようになると良いと思う。

・処分場のライブ映像のチャンネルにたどり着くまでの操作が分かりにくい。

・なお、当該廃棄物について、返還後の状況までは確認していないが、当該業者からエコグリーンとちぎへの搬入は、現在まで行われていない。

(SPC)

・当該業者に対し、廃棄物搬出に係る手順書等を確認するなど改善を求めていく。引き続き、基準値超過の事前チェックを徹底する。

(県)

・県・SPCで検討していきたい。

(SPC)

・500～800ベクレル程度のものが多い。

(県)

・対応について検討したい。

(県)

・試行錯誤のところがあるが、協議会にも諮りながら検討したい。

(県)

・見学会でアンケートを取得しているため、そういったツールを活用するなど検討したい。

<ul style="list-style-type: none"> ・ライブ映像の画質が粗くて分かりにくいように感じる。個人情報保護の観点もあると思うが。 ・当初、ライブ映像の導入にあたっては、地元立会いを省略するためだったと記憶している。今の映像だと搬入時の搬入物そのものが見られないので、あまり意味がないと思うが。 <p>(3) 北沢不法投棄物の撤去について</p> <p style="text-align: center;">(資料5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコグリーンとちぎで埋め立てできない処理困難物の処理は今後検討する、とのことだが、ストックヤードを含め、どのように対応していくのか。 ・過去2回、不法投棄地の調査を実施しており、それを踏まえればスムーズに処理ができているべき。速やかに適切な処理ができるよう対応されたい。 ・処理困難物として、どういったものがある、などの情報があるとよいと思う。 ・併せて、地域とのコミュニケーションを適切に実施しつつ、対応を検討されたい。 	<p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の広報誌である広報なかがわ等を活用し、ライブ放送の実施やチャンネル操作について周知を行っている。 <p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護の観点も踏まえながら、ライブ映像の画質については、極力鮮明なものを採用している。 <p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前述同様、個人情報保護の観点も踏まえ、今後も情報発信の在り方について検討したい。 <p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型機械やバッテリーなどは処理困難であるため、場外に搬出する。廃プラスチック類などは被覆施設内の前処理施設で破碎後、埋め立てる。外部搬出となるものの処分については検討したい。 <p>(県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応したい。
---	--